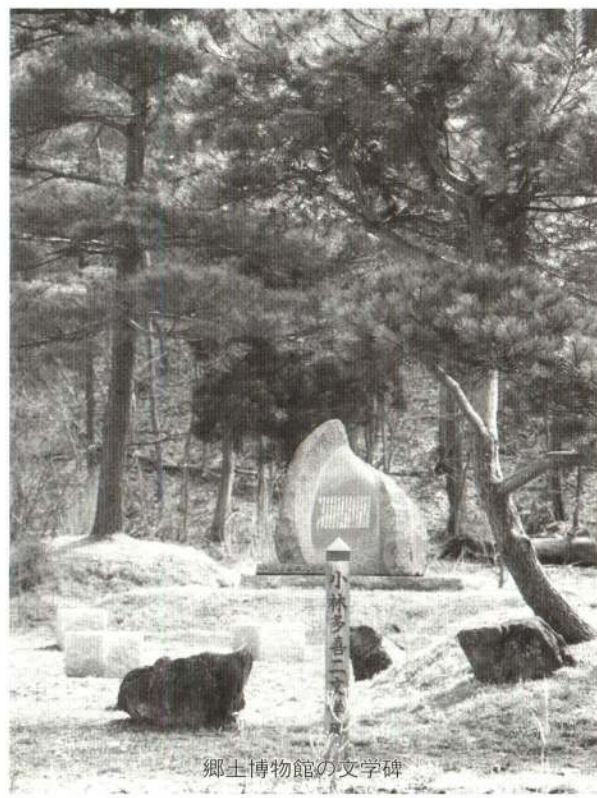


# 大館 さんぽ

Odate sanpo

プロレタリア文学運動の旗手  
小林多喜二を記念

## 生誕の碑と 文学碑



郷土博物館の文学碑

JR下川沿駅前に「小林多喜二生誕の地」と刻まれている記念碑が建っています。この碑は昭和三十三年佐藤栄治氏の発起により、地区住民の協力を得て建てられたものです。

「蟹工船」「党生活者」など日本文学史上不滅の作品を残した小林多喜二は、明治三十六年十月十三日、下川沿村川口に生まれ、父末松・母セキの二男として貧しいながらも温かい家庭の中で育ちました。

多喜二が四歳のとき、一家をあげ北海道小樽に移住。その後二十九歳で官憲の暴力により虐殺されるまで、生まれ故郷大館には帰ってこなかったとされています。しかし、多喜二の作品には随所に秋田の風景、父や母の姿が描かれ、やさしさと温かさを感じさせ



JR下川沿駅前の生誕の碑

る不思議な魅力となつて生きています。

平成八年、釈迦内・獅子ヶ森山麓、郷土博物館の敷地内に全国の小喜二文学愛好者の思いを結集した「小林多喜二文学碑」が建立されました。その碑文は、多喜二自らが執筆した「年譜」から冒頭の部分が記されています。文学碑の建つ釈迦内は、母セキの生まれた村です。

大館が生んだ偉大な作家、小林多喜二。下川沿と釈迦内の二つの石碑を訪ね、彼の原風景を思い巡らしてはいかがですか。



文学碑の碑文

## 今月のレシピ

### わらびとキャベツの みそマヨネーズ和え



1人分エネルギー110キロカロリー

“春の訪れ” 山菜を食卓にのせてみませんか。

材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ わらび……………100g</li> <li>・ キャベツ……………150g</li> <li>・ かにかまぼこ……………50g</li> <li>・ A マヨネーズ……………大サジ3</li> <li>・ みそ……………小サジ2</li> </ul>
作り方	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ゆでたわらびを2cmの長さに切る。</li> <li>②キャベツはゆでてから細ぎり。</li> <li>③かにかまぼこは細くさく。</li> <li>④水気を切った材料をAで和える。</li> </ol>

「わらび500gのアク抜き仕方」  
1ℓの湯を沸騰させ、これに木灰(15gまたは重そう小サジ1を入れ、ゆでて冷水にさらす(ゆで過ぎない)。ボールなどに水を張り、わらびを入れ一晩置く。

山菜は野菜と違い、栄養的な効果より季節感を目で楽しみ、舌で味わうもの、アクや苦みもおいしさの一つなのです。上手に処理することでよりおいしくいただけます。